

校長室からのお知らせ

9月4日号 NO.17

岸和田市立浜小学校
校長 尾野 武志

家事でコミュニケーション

高学年の子ども達は、そろそろ思春期や反抗期の時期にさしかかっていると思います。家族との時間よりも友だちと過ごす時間を優先したり、親から何か言われると「うざい」と感じ会話を避けるようになったり、保護者のみなさまの中にも覚えがある方もおられるかと思います。私自身も短くて些細な反抗期があったのですが、思い出すと恥ずかしさで赤面するしかありません。

さて、思春期や反抗期はお子様が大へと近づいている証拠でもあります。お子様なりの悩みや問題を抱えていることも間違いないと思います。一人で解決できなかつたり時間がかかつたりするため、ついつい家族に当たり散らし、後悔するが素直に謝ることができないのは思春期や反抗期の特徴だと考えます。そのように苦しんでいるお子様を少しでも救ってあげることができるのは、やはり保護者のみなさまだと思います。

お子様としっかりコミュニケーションをとって、お子様の悩みや問題に気づき、お子様にアドバイスをしてあげる方法の一つに「家事の分担」が有効であるというお話を先日お聞きしました。ただ、急にお手伝いを要求してもお子様は「絶対にしない」と意固地になり、保護者のみなさまは「なんでやらないの」と不平不満をつのらせ、お互いが疲れ果てる結果にしかならないようです。

思春期や反抗期が始まる前から「家事」をどんどんお子様に任せ、「きれいになったら気持ちいいね。」などの前向きな言葉かけが大切になるそうです。

保護者の方が「家事」をするのが当たり前になってしまいお子様がその環境に慣れてしまうと、途中から「家事」を分担することは難しいそうです。



決して遅くはないと思いますので、今日から積極的にお子様に「家事」を任せ、「家事シェア」の体制を整えるのはいかがでしょうか。